

# ひだまり

HIDAMARI

冬号  
2025  
vol.214



## 災害拠点病院としての役割

当院DMAT隊員

### 目次

02 新年のご挨拶

03 病院からのお知らせ

「電子処方箋がはじまりました」

04-05 特集

「災害拠点病院としての役割」

04-05 看護師は見た！

「心不全のこと 知っていますか？」

レシピ de 元気！

「温まる！ 関東煮」

07 外来診療日一覧表（1月6日現在）

08 ひだまりNEWS

より良い医療の提供を行うとともに、市民の健康増進に貢献することで、市民の信頼に応えます

## 「新年を迎えて」



病院事業管理者兼  
病院長

せき じょうじ  
関 常司

明けましておめでとうございます。

当院は長年に渡りこの地域の急性期医療の中核としての役割を担ってきました。これからも地域の皆さまに信頼される総合病院として最善の医療を提供すべく、スタッフ全員がそれぞれの仕事に真摯に取り組んでいきたいと考えています。

昨年診療面での新しい取り組みとして、脳神経内科にてアルツハイマー型認知症に対する新規抗体療法を開始しました。この治療法は比較的軽度な認知症の進行を遅らせることが期待されており、今後はかかりつけ医と連携した治療継続も推進していきます。また、整形外科では変形性膝関節症に対する人工膝関節手術をより正確に行うために、手術支援ロボットを導入しました。県内の公立病院として初めてのロボット支援手術導入により術後の早期回復も期待でき、地域の医療に大きく貢献するものと考えています。

尚、当院は、急性期医療に重点をおいた診療体制を整備しています。そのため、急性期における治療が終了し症状が安定した場合は、ご家庭での療養支援や地域の医療機関への紹介を積極的に行っています。紹介後もかかりつけ医等で引き続き治療を継続していただき、病状悪化時には再び当院でご紹介をお受けします。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 「新年のご挨拶」



薬剤部長

はやし りたか  
林 豊

明けましておめでとうございます。昨年も多くのご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

当院では昨年11月より電子処方箋を導入いたしました。詳細は別の紙面でご紹介しておりますが、医療DX（デジタルトランスフォーメーション）はこれにとどまらず、政府は今年より「電子カルテ情報共有サービス」を開始する予定です。

電子カルテ情報共有サービスは、患者さんの診療情報を複数の医療機関で安全に共有する仕組みです。これにより、患者さんが別の病院や診療所を受診する際、過去の診療歴や検査結果、処方された薬の情報を医師が迅速に確認でき、緊急時にもよりの確な医療を提供できるようになります。

人口減少が進む日本では、医療者不足が課題となっています。そのため、業務の効率化を進める医療DXは、現在の医療制度を維持するために必要不可欠です。診療情報の共有による不要な業務の削減や、蓄積されるビッグデータをAI技術で活用することで、個別化医療のさらなる進化が期待されています。

これらの医療DXを実現する鍵となるのが「マイナ保険証」です。まだご登録がお済みでない方は、ぜひこの機会にお手続きいただければと思います。

本年も地域医療の発展に尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 焼津市立総合病院からのお知らせ



## 「電子処方箋」 がはじまりました

スマホで  
お薬情報を確認



医療のデジタル化（医療DX）を進めるため、令和6年11月より「電子処方箋」を導入しました。当病院は静岡県内で3番目の導入施設となりますが、県全体の導入率は1.2%とまだ過渡期にあります。

電子処方箋の導入は、政府が推進する「医療データヘルス改革」の一環です。医療情報の一元的な共有を通じて、患者さんが安心して医療を受けられる環境を実現します。また、医療アクセスの向上や医療データの二次利用による医学研究の発展、さらには医療の質の向上も期待されています。

電子処方箋とは、医師によって送信された処方内容を、「電子処方箋管理サービス」を介して保険薬局が受信する仕組みです。このシステムにより、従来の紙の処方箋が不要になります。また、複数の医療機関から処方された薬の飲み合わせや重複投薬のチェックが迅速に行えるようになります。さらに、患者さんはマイナポータルを通じて薬の情報をいつでも閲覧できるようになり、在宅医療においても、医師と患者双方の利便性が向上するとされています。一方で、高齢者が多い地域における普及や利用促進は、今後の課題とされています。

今後も、多くの患者さんにとって便利で質の高い医療サービスを提供できるよう努めてまいります。

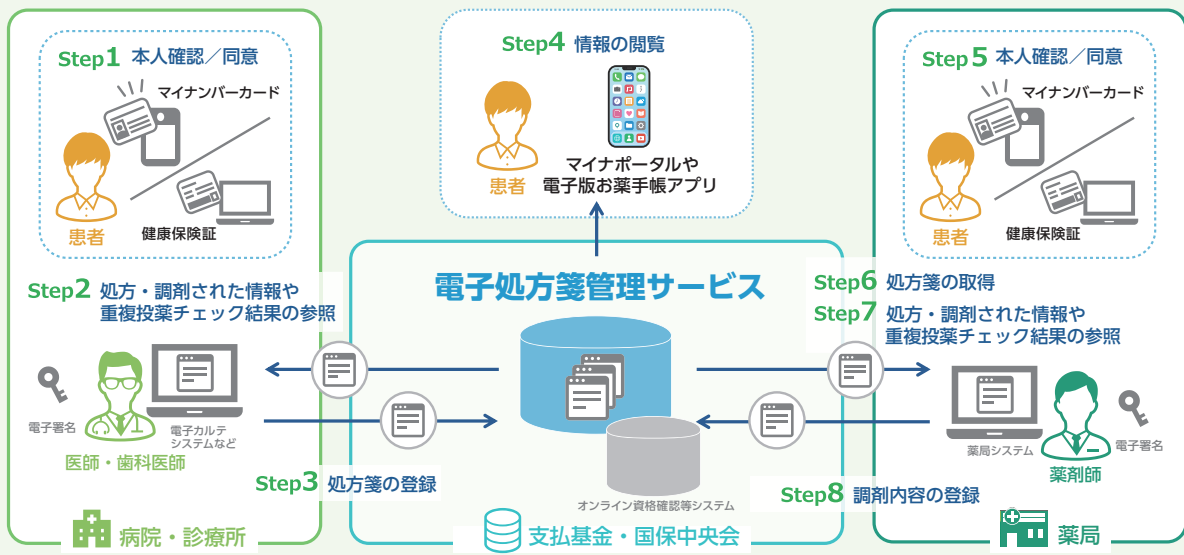
薬剤部長 林 豊

## 電子処方箋でもっと便利に！



### 電子処方箋でできること

電子処方箋は、オンライン資格確認の仕組み（オンライン資格確認等システム）を基盤とした「電子処方箋管理サービス」を通して、医師・歯科医師、薬剤師間で処方箋をやり取りする仕組みです。医師・歯科医師が処方箋を「電子処方箋管理サービス」に送信し、薬剤師がその処方箋を薬局のシステムに取り込み、お薬を調剤します。お薬を調剤した後、薬局は調剤結果を「電子処方箋管理サービス」に送信します。調剤結果は重複投薬や併用禁忌がないかのチェックなどに活用されます。



# 特集

Topix

## 災害拠点病院としての役割 ～ 災害時の対応 ～

病院施設課施設管理担当主幹 岩辺 直治

令和6年12月1日（日）に、地域防災訓練に併せて当院の防災訓練が実施されました。新型コロナウイルスの影響などで延期され、5年ぶりの実施となりました。

当院は災害拠点病院に指定されております。災害拠点病院は、災害発生時に被災地内の傷病者の受入れ機能を有することに加えて、傷病者の広域搬送への対応・医療救護チームの派遣・地域医療機関への応急用資器材の貸し出しなど、災害時の初期救急医療体制を整えるための様々な機能を有することが必要です。



イメージ画像

### 災害拠点病院の主な要件

- 1 24時間緊急対応し、災害発生時に被災地内の傷病者等の受入れ及び搬出を行うことが可能な体制を有すること。
- 2 災害発生時に、被災地からの傷病者の受入れ拠点にもなること。
- 3 災害派遣医療チーム（DMAT）を保有し、その派遣体制・他の医療機関のDMATの受入体制があること。
- 4 救命救急センター又は第二次救急医療機関であること。
- 5 被災後、早期に診療機能を回復できるよう、業務継続計画の整備を行っていること。  
整備された業務継続計画に基づき、被災した状況を想定した研修及び訓練を実施すること。
- 6 地域の第二次救急医療機関及び地域医師会、医療関係団体とともに定期的な訓練を実施すること。
- 7 災害時に地域の医療機関への支援を行うための体制を整えていること。

当院の災害派遣医療チーム（DMAT）は令和6年1月の能登半島地震発災にも現地へ駆けつけ、災害医療活動を行っています。

今回の訓練は能登半島地震の支援活動経験を基に、計画内容を見直し訓練を実施しました。

### DMAT

「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略し「DMAT（ディーマット）」と呼ばれています。

医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

令和6年1月  
能登半島地震で  
災害医療活動



令和6年10月静岡空港にて航空機事故対応訓練

# 院内総合防災訓練を実施

今回の訓練では、職員の安否確認及び参集訓練、災害対策本部の立ち上げ訓練、模擬患者のトリアージ、重症、中等症など各ゾーンの設営訓練、災害医療診療の訓練、炊き出し訓練、情報収集訓練、消火訓練などを行いました。

模擬患者には、中部看護専門学校の見習い学生にも協力をさせていただきました。

災害発生時などに多数の傷病者が発生した場合は、傷病の緊急度や重症度に応じて治療優先度を定めるトリアージを行います。

訓練ではある程度の診療体制をとることができましたが、大規模災害時は短時間に大量の患者が来院し大混乱することが予想されます。

災害時の医療救護に当たっては、現存する限られた医療スタッフや医薬品等の医療資源を最大限に活用して、可能な限り多数の傷病者の治療にあたる必要があります。トリアージによる重症者の治療を優先することになりますので、軽傷者につきましては地域の医療救護所で処置を受けるようお願いいたします。

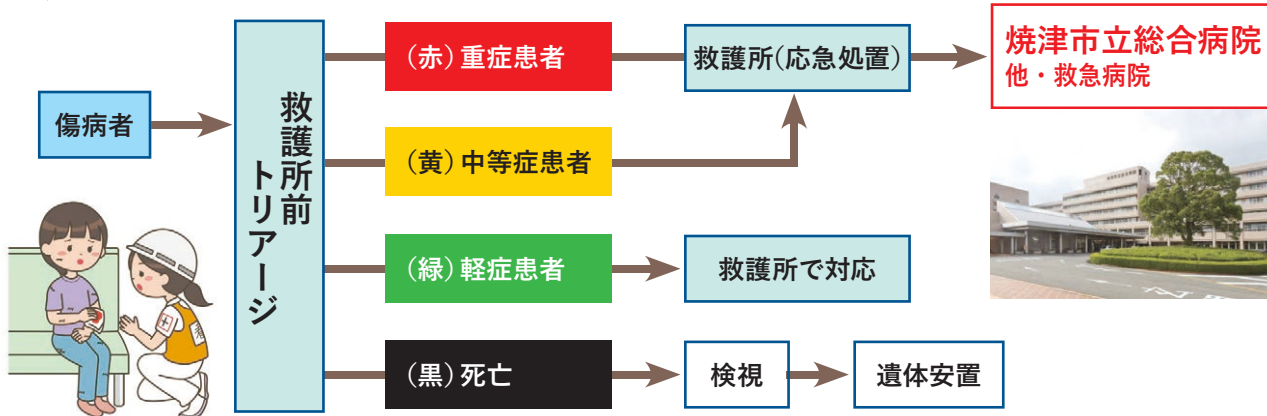


災害時 焼津市内の医療救護所設置場所

名称	救護所設置場所	住所
第1救護所	東益津地域交流センター	石脇上65
第2救護所	焼津文化会館	三ヶ名1550
第3救護所	小川地域交流センター	小川2724-1
第4救護所	豊田小学校	五ヶ堀之内2
第5救護所	焼津ケアセンター	中根新田1315
第6救護所	和田地域交流センター	田尻1992-2
第7救護所	大井川中学校	下江留191

## 災害時、重症者を優先！ 中等・軽症者は医療救護所で対応

◆傷病者への対応の流れ



当院では災害医療の訓練を受けたDMAT隊員を中心に防災計画の策定、マニュアルの見直し、防災訓練の立案などを行い災害拠点病院として災害に備えています。今回の防災訓練を災害時の医療救護活動に役立てていき、今後も災害拠点病院として、市民・患者、そして職員の命を守れるよう訓練を実践していきます。

看護師は見えたら!!



## 心不全のこと 知っていますか?

3C病棟副看護師長 伊東 美樹

みなさんは「心不全」という言葉を耳にしたことがありますか? 心不全とは、心臓に何らかの異常があり、心臓のポンプ機能が低下して、全身の臓器が必要とする血液を十分に送り出せなくなった状態を言います。また、心不全は心臓の病気(心筋梗塞、弁膜症、心筋症など)や高血圧などでより負担がかかった状態が最終的に心不全へと至ります。そのため、症状の安定後に手術の選択を迫られる高齢者の方もいらっしゃいます。「弁膜症を歳のせいにははいけないよ!」と梅沢富美男さんがテレビのコマーシャルで言っていますね。

生命の危機状態となり、入院される患者さんも少なくありません。私たち医療者が見てもとても苦しそうで、一刻も早くこの状態を脱して回復してほしいとの想いで看護にあたっています。尿の回数が減り、手足がむくんでパンパンになり、座っていないとられない、身の置き所のない体勢で自力で体の向きを変えることもままならず、数日間不眠の方もいらっしゃいます。ベッド柵にテーブルをかけ、枕を置き、抱え込むような姿勢を保ち、背中をさすること

で、なんとか落ち着かれ、患者さんの険しい表情が穏やかになるわずかな時間を共に過ごしたことを覚えています。

循環器病棟では、心不全で入院した患者さんやご家族に対して、心不全指導を行っています。医師の指示のもと、担当看護師を中心に多職種(栄養士、薬剤師、理学療法士、相談員など)で、計画的なチーム医療を提供しています。食事、服薬、生活指導を主に行います。宅配食の紹介や減塩に慣れる工夫、調味料に含まれる塩分量などの案内により、不安が解消されることもあります。安心して在宅での療養生活が過ごせることを目標に関わらせていただいています。それには入院前の生活の情報、習慣が指導のカギとなります。ほんの些細な情報から、お一人お一人のこれまで大切にしてきた生活習慣や想いを知ることがより快適な生活を送るヒントとなります。指導で関わらせていただく際は、ご自身の大切にしていることを私たちに教えてください。また、歳のせいだと思わずに、ご家族、かかりつけの医師に身体の変化をご相談ください。



### 「温まる! 関東煮」



(栄養価 1人分)  
熱量 200kcal、蛋白質 12.8g、脂質 7.0g、塩分 2.4g  
問合先 栄養科 054-623-3111(代)

材料 4人分	卵	4個	調味料	砂糖	大さじ1弱
	こんにゃく	1/2枚		醤油	小さじ4
	ごぼう巻	4本		ブイヨン粉末	小さじ2/3
	むすび昆布	4個		だし汁	1カップ
大根	200g	味噌だれ	味噌	大さじ1弱	
	ジャガイモ		4個 (1個50g程度)	砂糖	大さじ1と1/2
			ショウガ	1.5g	

#### ① だし汁と調味料を合わせる

食材の下処理をする

1. 卵は茹でて(固茹で)、水でしっかりと冷まし殻を剥いておく
2. こんにゃくは三角形に切り、茹でこぼす
3. むすび昆布は水で戻しておく
4. 大根は皮を剥き、1人分に切り、やわらかくなるまで茹でる
5. ジャガイモは皮をむき、やわらかくなるまで茹でる

#### ③ 鍋に①と下処理した食材、ごぼう巻を入れ、弱火で30～45分加熱する

味噌だれを作る

4. 1. ショウガをおろし絞り汁を作る
2. 味噌、砂糖、搾り汁を加熱する

#### 【ポイント】

★具材はお好きなものを入れて作ってください。  
★味噌だれは、小皿にとって少しずつ使うことで、上からかけるよりも減塩につながります。



# 外来診療日一覽表

2025年1月6日現在

診療科	午 前				
	月	火	水	木	金
総合診療内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
腎臓内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
呼吸器内科 (紹介状必要・予約制)	○	○			○
血液内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
消化器内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
循環器内科 (院内他科依頼)		○	○	○	○
代謝内分泌内科 (紹介状必要・予約制)	○		○	○	○
脳神経内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
精神科 (新患受入休止)	○	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○
整形外科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
形成外科 (紹介状必要・予約制)	○		○		○
脳神経外科	○	○	○	○	○
皮膚科	○	○	○	○	○
泌尿器科	○	○	○		○
透析	○	○	○	○	○
産婦人科 (予約制)	○	○	○	○	○
眼科	○	○		○	○
耳鼻咽喉科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
放射線科 (予約制)			○		○
歯科口腔外科	○		○		○

- ◆受付時間
  - ・午前 8時00分～11時00分 (再来受診) 8時00分～11時30分
  - ・午後 12時30分～15時00分
- ◆予約受付
 

054-623-3111(代表) ※受診科をお知らせください。  
 ※午後の診察はすべて予約制です。ご注意ください。
- ◆外来担当医表
 

外来担当医表については、毎月1日付でホームページを更新していますのでご覧ください。また、病院受付窓口でも毎月1日から配布しています。  
 なお、都合により担当医や担当日が変更になることがあります。
- ◆各種相談 (予約制)
  - ・緩和ケア・がんよろず相談 月～金曜日(休診日を除く)9時00分～16時00分  
 予約受付 054-623-3111(代表) 内線: 3031 地域医療連携室がんよろず相談担当
  - ・退院後の療養、介護に関する相談 月～金曜日(休診日を除く)9時00分～16時00分  
 予約受付 054-623-3111(代表) 内線: 2816 患者支援室医療相談担当

○…診療日 検…検査

診療科	午 後 (予約制)				
	月	火	水	木	金
総合診療内科 (再診のみ)	○	○		○	○
呼吸器内科 (紹介状必要)	○	○			○
血液内科 (紹介状必要)		○		○	○
消化器内科 (紹介状必要)		○	○		○
循環器内科 (院内他科依頼)	○	○	○	○	○
代謝内分泌内科 (紹介状必要)	○	○		○	
脳神経内科 (紹介状必要)	○	○	○	○	○
精神科 (新患受入休止)	○	○		○	○
小児科	○	○	○	○	○
整形外科 (紹介状必要)		○		○	○
皮膚科	○	○	○	○	○
透析	○	○	○	○	○
耳鼻咽喉科 (紹介状必要)	○		○	○	
歯科口腔外科	○		○		○

特殊外来 完全予約制 △午前 □午後 一部毎週開催していない外来もあります。詳しくはお問い合わせください。

特殊外来(完全予約制)		月	火	水	木	金	
腎臓内科	膠原病・リウマチ (紹介状必要)				□		
	多発性のう胞腎 (紹介状必要)				□		
	糖尿病性腎症パス(紹介状必要)	△□		△□			
代謝内分泌内科	フットケア外来 (再診予約制)		△			□	
脳神経内科	アルツハイマー外来 (紹介状必要)					△□	
小児科	心臓				□		
	エコー					□	
	神経					□	
	すこやか療育支援			□			
	川崎病				□		
	乳児検診	4ヶ月児 10ヶ月児		1ヶ月児			
	シナジス	□					
外科	スキンケア				△□		
	乳腺	△□				△□	
	血管外科					第1,2,4 △	
	呼吸器外科			△□			
	心臓外科					第2,4 □	
大腸・肛門				△□			
整形外科	スポーツ整形	□					
形成外科	レーザー	□		□			
脳神経外科	脳卒中		□				
泌尿器科	移植外来	△	△	△			
産婦人科	不妊治療	△	△	△	△	△	
	助産師	△□	△□	△□	△□	△□	
	妊婦健診	□		□	□		
眼科	網膜・緑内障		△				

## 第4回 病院シンポジウム開催のお知らせ

当日は、当院産婦人科主催により、東京大学医学部附属病院女性診療科教授をお招きし、女性特有の病気や健康課題について講演を行う予定です。

女性の活躍を推進するためには、女性特有の病気について正しく理解することが大切です。

女性の方だけでなく、女性を支える方（パートナー、家族、企業の労務管理担当者等）にも、是非ご参加いただきたいと思います。（詳細については決まり次第、ホームページ等にてお知らせいたします）

令和7年3月7日（金）18:00～（予定）焼津文化会館小ホール

女性特有の  
病気のお話



### 10/30 出前講座を実施



市内にある石竹水産（株）様より出前講座のご依頼を受け、当院救急担当看護師が「あなたもできる救急処置」について職員の皆さんに体験実習をしていただきました。

### 11/7 勤労感謝 園児が訪問



市内みなと・みやじま幼稚園の園児の皆さんが「はたらく ひとたち ありがとう」と、大きな声で手作りの折り鶴を届けてくれました。温かい声援に心から感謝いたします。

## 病院図書ボランティア募集

焼津市立総合病院では、入院患者さんの快適な生活をサポートする図書ボランティアを募集しています。病院に力を貸していただけの方は、是非ご連絡ください。玄関ボランティアにご協力いただける方も募集中です。

- 【活動内容】・病棟での貸し出し図書ワゴン巡回  
・病院内図書コーナー本棚の整理

お問い合わせ 電話 (054) 623-3111 (代表) 地域医療連携室

本棚の整理や病棟での  
ワゴン巡回などの  
お手伝いをさせていただきます

